

「えひめ丸」事故犠牲者追悼について

2001年(平成13年)日本時間2月10日(土)8時45分、アメリカハワイ州のオアフ島沖で、愛媛県立宇和島水産高等学校の実習船「えひめ丸」が急浮上してきたアメリカ海軍の原子力潜水艦「グリーンビル」に衝突され、沈没しました。

えひめ丸の乗組員35名のうち、船内に取り残された指導教官を含め乗組員5名、実習生4名の合わせて9名が死亡しました。

2003年、全国水産高等学校長協会が2月10日を「海の安全祈念日」と制定しました。



ホノルルにある「えひめ丸」慰霊碑

中央に大きな錨が置いてあり、その手前に犠牲になった実習生の名前が刻まれています。

そして、事故現場の海の方角といったん引き揚げられて沈められた船の方角も記されています。

全国の水産高校実習船がホノルルに寄港する際や修学旅行生などが慰霊碑を訪れ、ご冥福を祈っています。



宇和島水産高校内
「えひめ丸」慰霊之碑

慰霊碑は7つの大海を表す球と、9名の魂を象徴した列柱からなっています。

